

# デスク周り デスクラック2段 ホワイト

この度は、当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
本説明書を組み立ての前に必ずお読みの上、正しくお取り扱い下さいますようお願いいたします。  
また、本書を大切に保管して下さい。

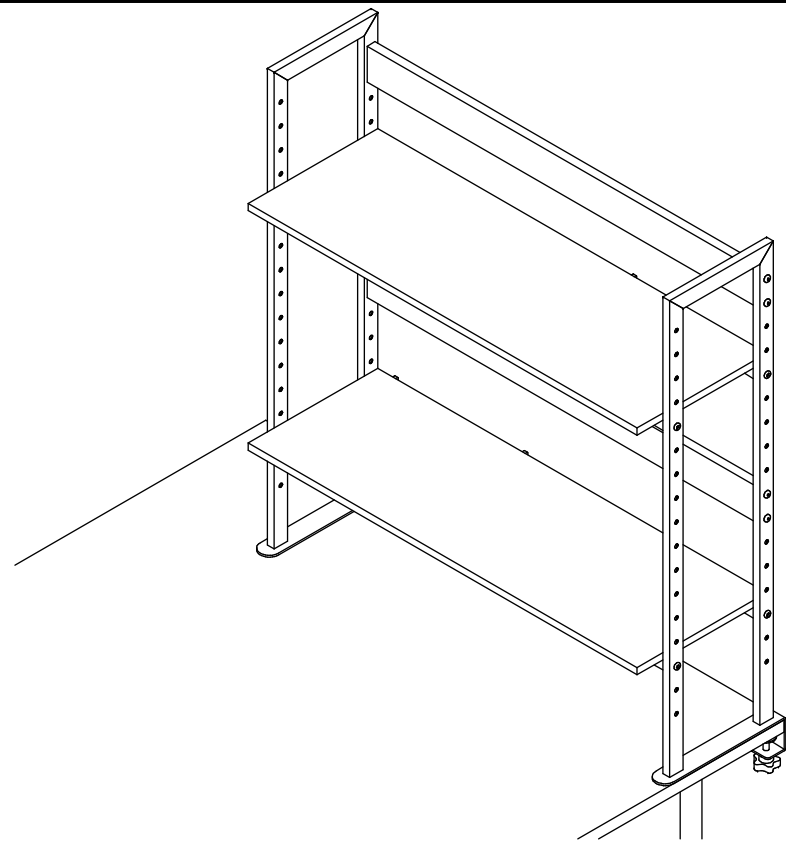
## 組み立て時のご注意！

- 電動工具は絶対に使用しないで下さい。部品が破損します。また、保証の対象外となる場合があります。
  - 組み立てる際は、指先などを傷付けないよう、手袋等を着用して下さい。
  - 開封する際は、カッターナイフなどで本体を傷付けないよう十分ご注意下さい。
  - 工具類の取り扱いには、十分ご注意下さい。
  - 組み立ての際はお子さまに注意し、なるべく広い場所で行って下さい。
  - 組立説明書に従って組み立てて下さい。組み立て手順を間違えると、組み立たない場合があります。
  - 組み立て手順に従い、ネジ等で確実に止めて下さい。不十分ですと、製品が破損したりケガをする恐れがあります。
- ※ 部材や床などにキズが付かないよう、ダンボールや毛布等を敷いて組み立てて下さい。



## 使用時のご注意！

- 後方への転倒を防止するため、必ず壁面を背にして設置して下さい。
  - 本体に係る振動等により、アジャスターが緩む場合があります。定期的に締め直して下さい。
  - 本製品に乗ったり、重いものを引っ掛けたり、耐荷重以上のものを載せたりしないで下さい。転倒したり、壊れてケガをする恐れがあります。
  - 高温のものを直接当てたりしないで下さい。塗装面が変色したり、剥がれることがあります。
  - 直射日光や冷暖房器具の風を直接当てないで下さい。歪んだり変色したりすることがあります。
  - 本製品は防水仕様ではございません。水に濡れた場合は放置せず、拭き取って下さい。また、高温多湿な場所でのご使用は、劣化が進む原因となります。
  - 分解や改造をしないで下さい。破損したりケガをする恐れがあります。
  - 異常を見つけたらそのまま使用せず、製造元へご連絡下さい。
- ※ 改善のため、予告無く仕様を変更することがあります。



製品仕様 外形寸法：13-004MH-5＝幅 80cm × 奥行28cm × 高85cm 重量： 8.0kg  
 13-004MH-6＝幅100cm × 奥行28cm × 高85cm 重量： 9.4kg  
 13-004MH-7＝幅120cm × 奥行28cm × 高85cm 重量： 10.8kg  
 13-004MH-8＝幅140cm × 奥行28cm × 高85cm 重量： 12.0kg

耐荷重：等分布25kg/段

主要材料：スチール、MDF

表面処理：スチール＝パウダー塗装、MDF＝低圧メラミン樹脂化粧板

Made in China

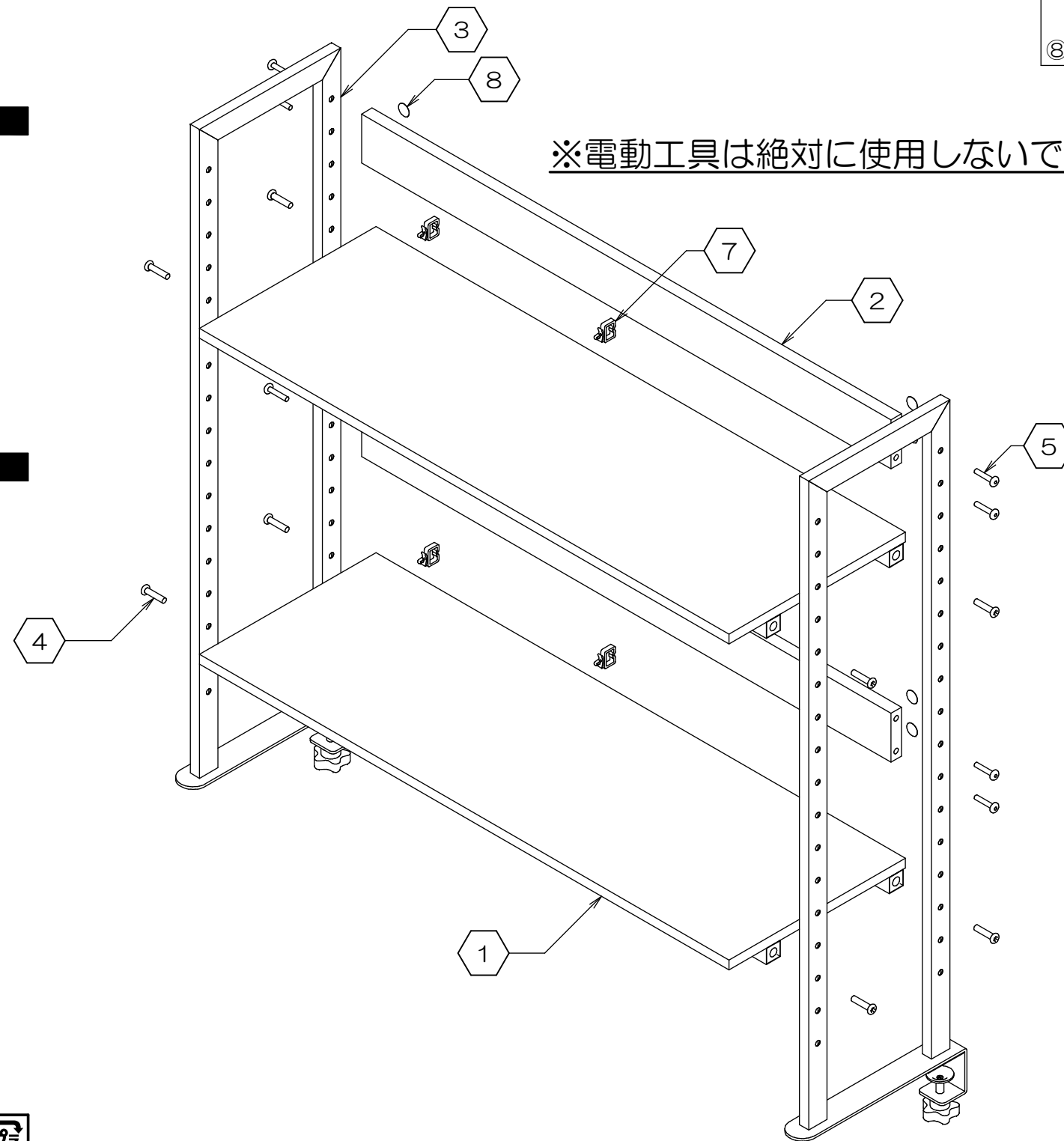
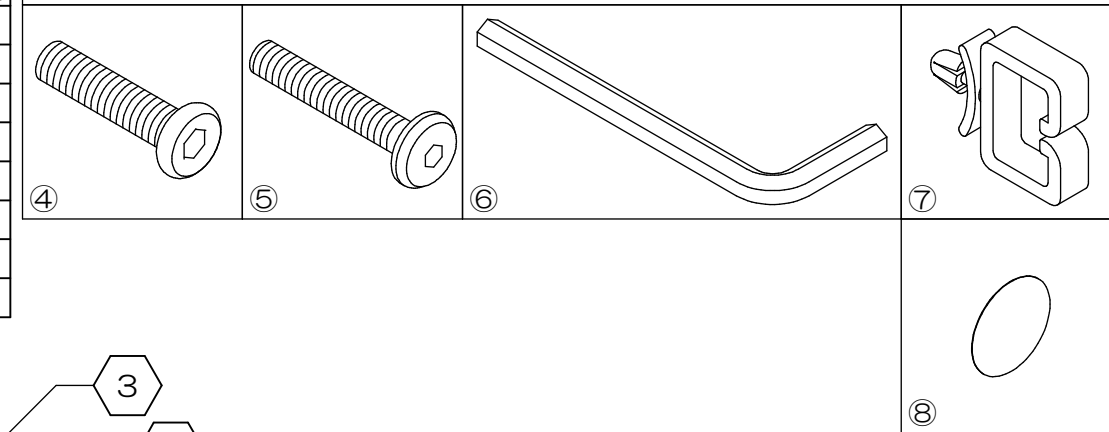
L1123-R5



組み立てる前に、各部品を確認して下さい。

項目	部品名称	数量
1	棚	2
2	背板	2
3	フレーム	2
4	ネジ/太	8
5	ネジ/細	8
6	六角レンチ	1
7	ケーブルホルダー	4
8	目隠しシール	8

使用部材の形状



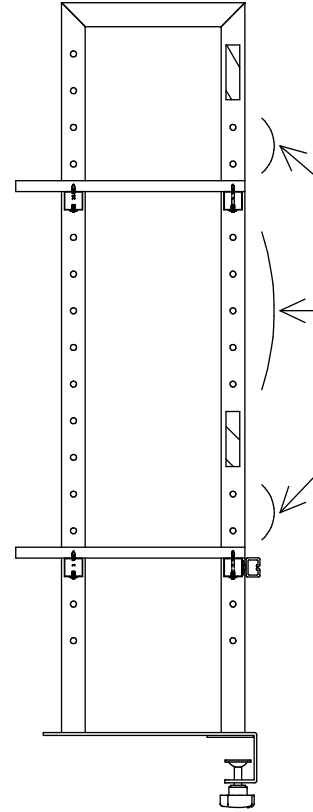
お問い合わせ先  
 販売元：有限会社 P・G GLORIA 06-6766-2575  
 製造元：株式会社 林製作所 072-960-0500  
 〒578-0925 大阪府東大阪市稲葉1-4-50

13-004MH-5  
 13-004MH-6  
 13-004MH-7  
 13-004MH-8

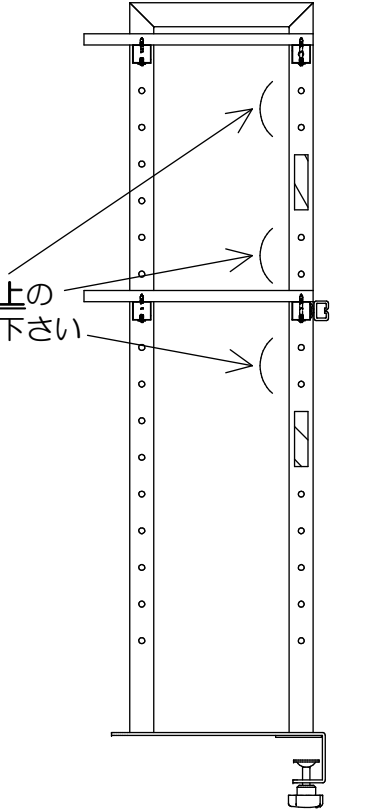
## ▲ 棚と背板の取り付け位置について

- ①棚はお好みの位置に取り付けることができますが、必ず以下の条件で取り付けして下さい。
  - ・ ①棚と②背板は各1枚を一組として、必ず交互に4枚全てを取り付けて下さい。
  - ・ ①棚と②背板の間に必ず穴2つ以上の間隔を空けて下さい。
- ※ 上方に偏った取り付け方をすると、重心が不安定になります。バランスよく配置して下さい。

②背板→①棚→②背板→①棚の順番で取り付けられた場合の断面図



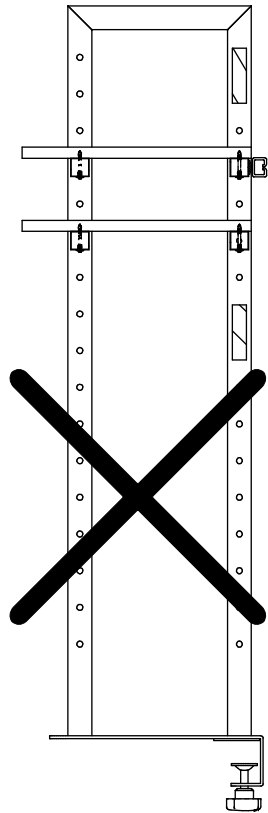
①棚→②背板→①棚→②背板の順番で取り付けられた場合の断面図



必ず穴2つ以上の間隔を空けて下さい

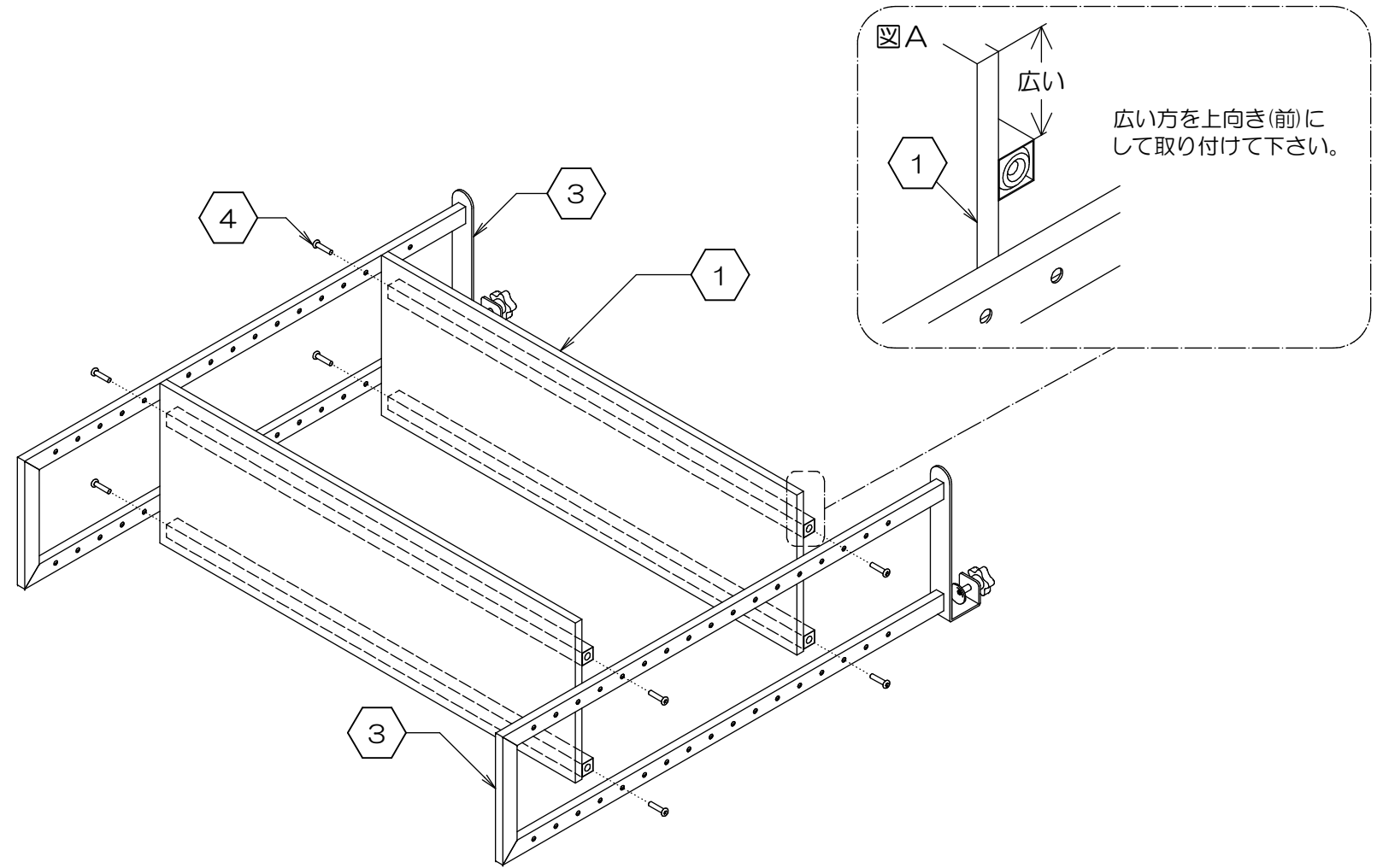
### 間違った取り付け例

- × ①棚と②背板を交互に取り付けていない
- × ①棚と②背板の間に、穴2つ以上の間隔を空けていない



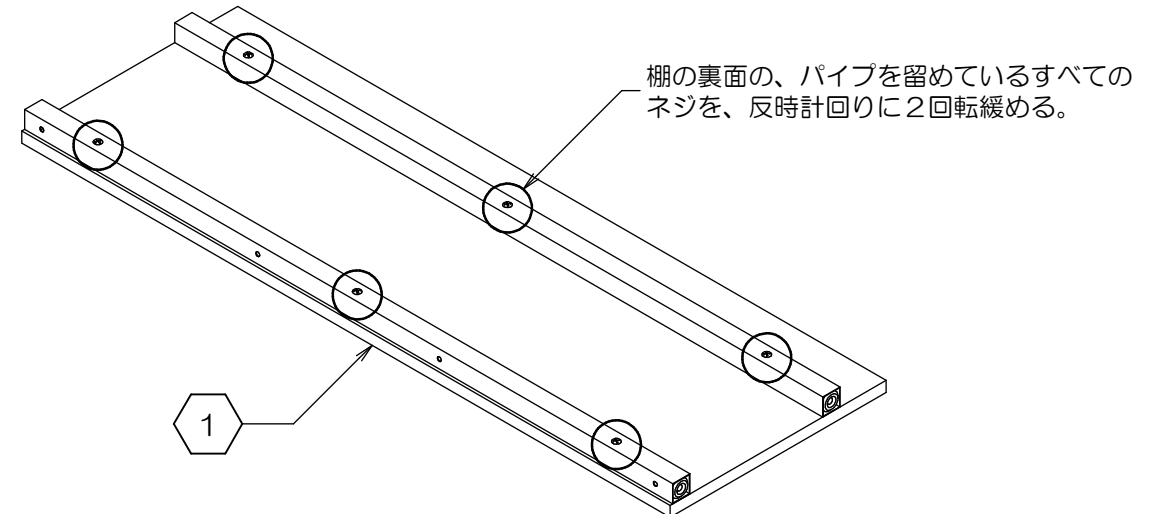
## 1. 棚の仮組み

- 図Aを参考に、①棚の前後を確認して下さい。
- 下図を参考に①棚2枚をお好みの位置に合わせ、①棚2枚と③フレーム2本を④ネジ/太8本で仮留めします。(付属の⑥六角レンチをご使用下さい)



### ◆ ネジが取り付けにくい場合

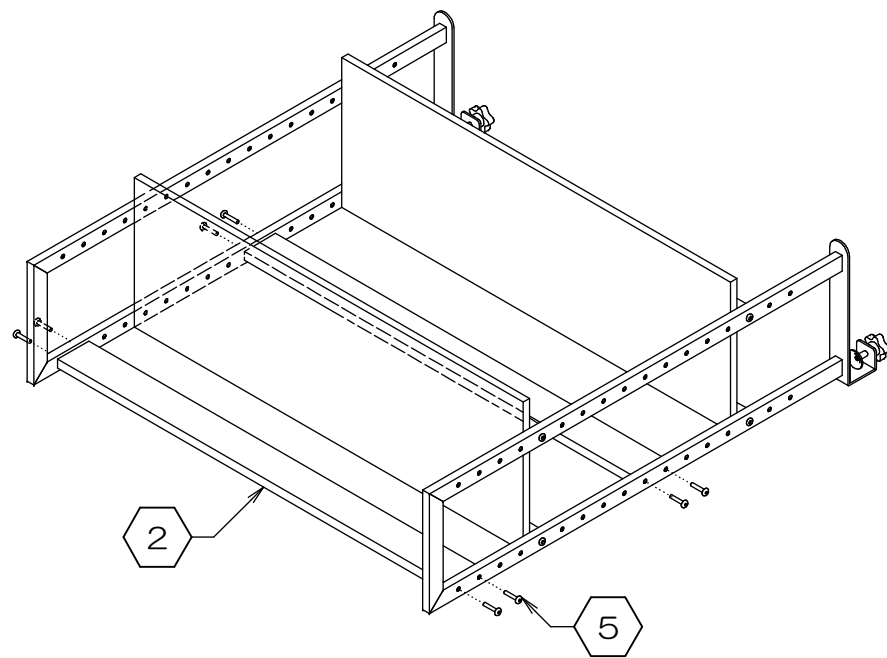
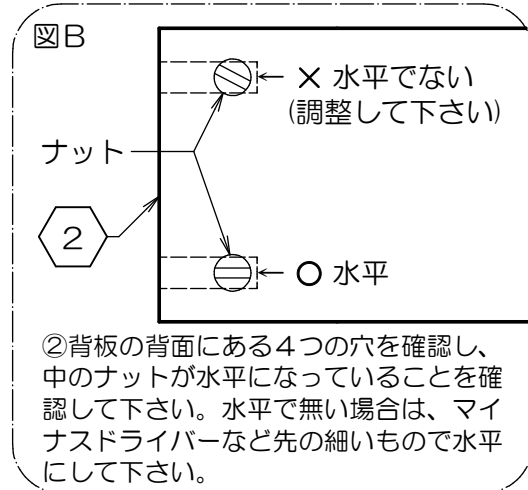
- ④ネジ/太が取り付けにくい場合は、下図を参考に①棚の裏面にあるパイプを留めているすべてのネジを、反時計回りに2回転まわし緩めて下さい。(お手持ちのプラスドライバーをご使用下さい)
- ※ 緩める際は必ず2回転にして下さい。3回転以上緩めるとパイプが外れてしまいます。



※ 次の[2. 背板の仮組み]の最後に、緩めたネジを必ず再度 締め直して下さい。

## 2. 背板の仮組み

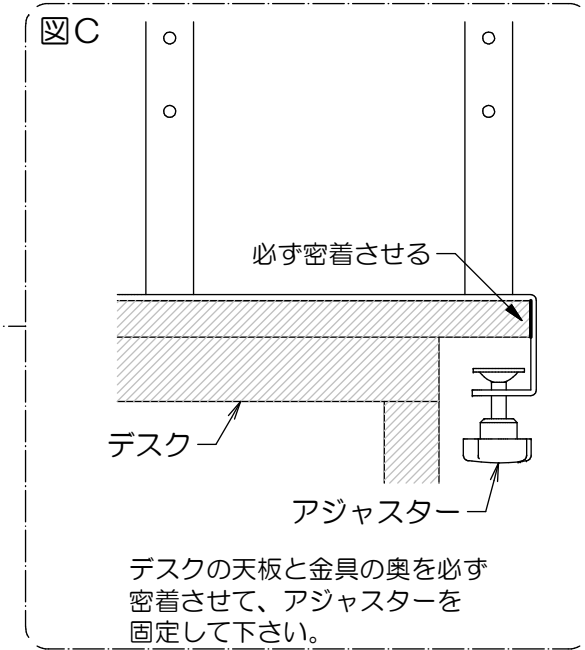
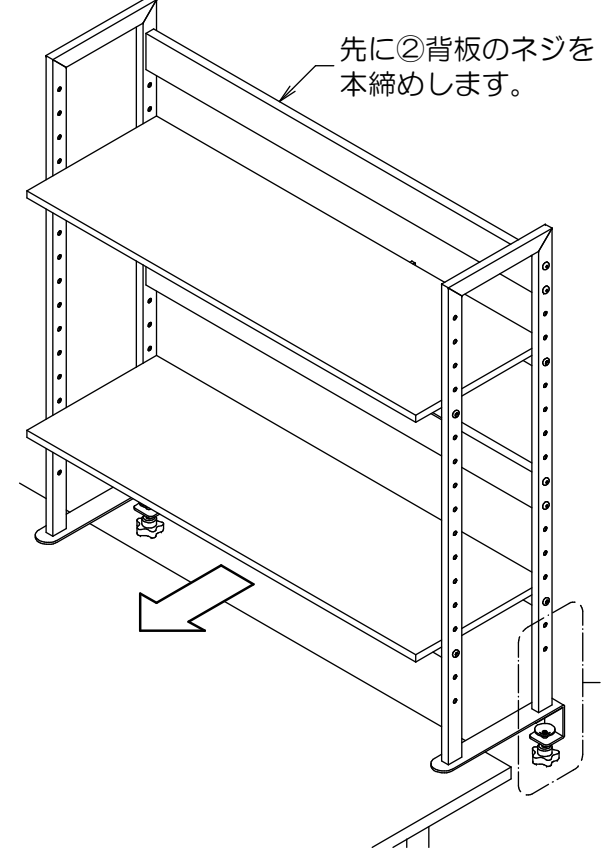
- まず最初に、②背板のナットを確認して下さい。(図B参照)
- 前項で仮組した本体に、②背板2枚を③フレームに⑤ネジ/細8本で仮留めします。(付属の⑥六角レンチをご使用下さい)



- ⚠ 前項で①棚の裏のネジを緩めた場合は、ここでネジを時計回りに2回転半まわし本締めして下さい。このとき3回転以上まわしますと、ネジ穴が破損しますのでご注意ください。

## 3. デスクへの設置

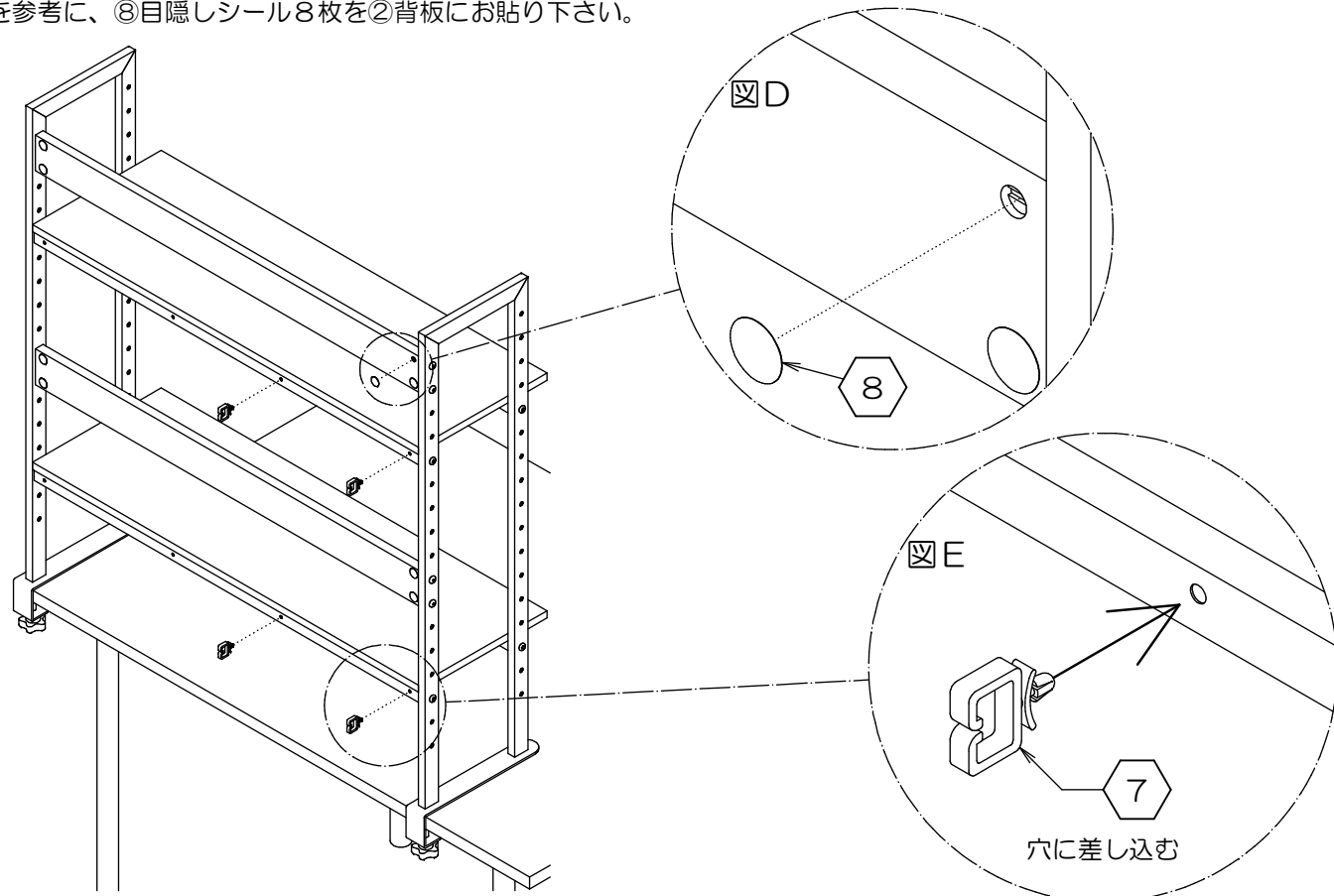
- デスクの背面から、お好みの位置に本体を設置し、左右のアジャスターで天板に仮留めします。
- 先に、②背板を仮留めしていた⑥ネジ/細 4本をバランスを整えながら本締めします。
- 次に、①棚を仮留めしていた④ネジ/太 4本を本締めします。
- 最後に、仮留めしていたアジャスターを強く固定して下さい。



## 4. ケーブルホルダーの取り付け

※ ケーブルホルダーは一度取り付けると、取り外すことは出来ませんのでご注意ください。

- 図Eのように、①棚の背面に⑦ケーブルホルダーを取り付けることができます。
- ⑦ケーブルホルダー用の穴は4ヶ所ございますので、ご使用になるケーブル等の位置・向きに合わせてお好みの場所に取り付けて下さい。
- 最後にネジ等が緩んでいないか確認して下さい。緩んでいる場合は、締め直して下さい。
- ガタつきが生じる場合は、一度 全てのネジを緩めバランスを整えながら、再度 しっかりと締め直して下さい。
- 図Dを参考に、⑧目隠しシール8枚を②背板にお貼り下さい。



- ⚠ **注意** 必ず壁面に設置して下さい。後方へ転倒して、ケガをすることがあります。

